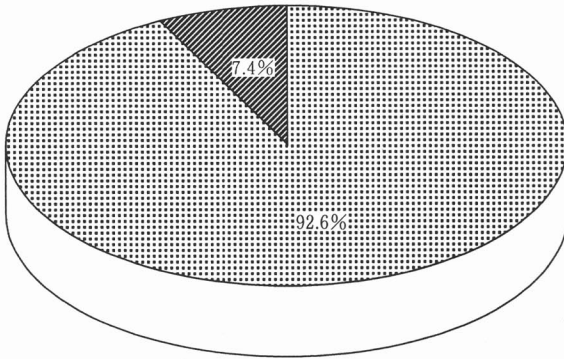


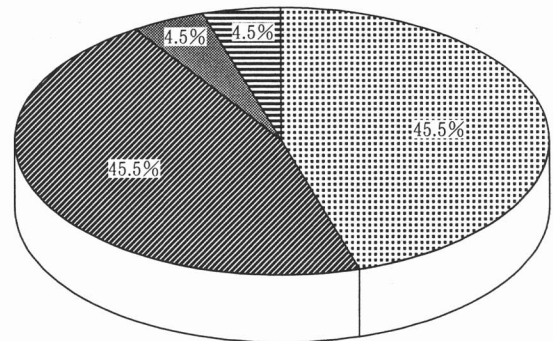
授業で行ってみたいかった学習形態（大学生）



- 板書や質問ノートなどに書く学習
- グループごとに話し合ったり調べたりする学習
- 一人で課題を調べたり問題を解いたりする学習

グラフ 20

授業で習ったことが日常役立っているか（大学生）



- たいへん役立っている
- まあまあ役立っている
- あまり役立っていない
- ほとんど役立っていない

グラフ 22

(4) 学習の日常化と学習への意欲

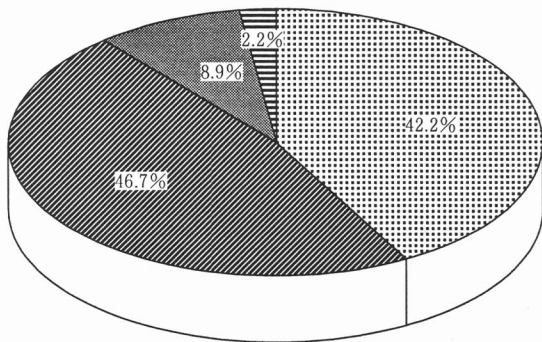
「保健の授業で学習したことが日常生活で役に立っているか」という設問に関して高校生で 42.2%，大学生で 45.5% とほぼ半数が、「たいへん役に立っている」と答えている。（グラフ 21, 22）

日常化の主な場面としては、「応急処置」，「自分の健康管理」などをあげている。

学習への意欲については、グラフ 23, 24 に示すように「応急処置」に関して高校生，大学生の約半数が「もっと勉強したい」と答えている。

また高校生では「疾病の予防」，大学生では「健康の考え方」をあげている人数も多い。

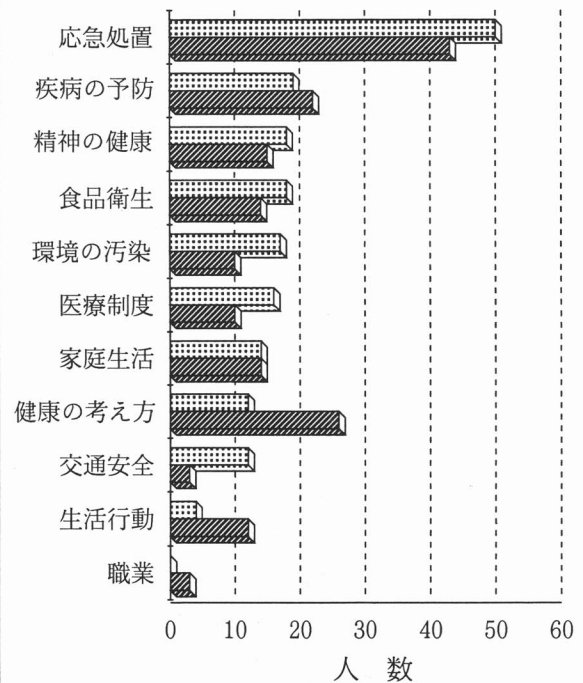
授業で習ったことが日常役立っているか（高校生）



- たいへん役立っている
- まあまあ役立っている
- あまり役立っていない
- ほとんど役立っていない

グラフ 21

もっと勉強したいと思った分野



グラフ 23

- 高校生
- 大学生